

Anan College				一般教科（平成25年度以前入学生）						Year				2012													
Department Goals																											
Course Category		Course Title	Course Code	Credit Type	Credits	Class Hours per Week																Instructor	Division in Learning				
						1st Year				2nd Year				3rd Year				4th Year						5th Year			
						1st		2nd		1st		2nd		1st		2nd		1st		2nd				1st		2nd	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
General	Compulsory	基礎数学 2	0010	School Credit	4																						
General	Compulsory	数学B	0011	School Credit	2																						
General	Elective	日本語総合	0012	School Credit	2																	Tsuboi Taiji					
General	Compulsory	英語 2	0013	School Credit	2																						
General	Elective	英語B	0014	School Credit	2																	Katsufuji Kazuko					
General	Elective	英会話英作文	0015	School Credit	2																	Christopher Prowant					
General	Elective	物理	0016	School Credit	2																	Matsuo Toshihiro					
General	Elective	物理実験・演習	0017	School Credit	1																	Hirayama Motoi					
General	Elective	化学 2	0018	School Credit	2																						
General	Elective	世界史	0019	School Credit	2																	Hamada Kaori					
General	Elective	地理	0020	School Credit	2																	Miyamoto Kakuwa					
General	Elective	体育	0021	School Credit	2																	Arai Osamu					
General	Compulsory	英語 3	0022	School Credit	3																						
General	Compulsory	微分積分	0023	School Credit	4																						
General	Compulsory	微分方程式	0024	School Credit	1																						
General	Compulsory	数学C	0025	School Credit	1																						
General	Elective	日本史	0026	School Credit	2																						

General	Elective	体育	0027	School Credit	2													2	2							Arai Osamu	
General	Elective	日本語総合	0028	School Credit	2													2	2							Nishikori Hirofumi	
General	Elective	政治社会	0029	School Credit	2													2	2							Imada Hiroyuki	
General	Elective	英会話英作文	0030	School Credit	2													2	2							Ogasawara Maiko	
General	Compulsory	英語総合 1	0031	Academic Credit	2																					Tanaka Toshihiro	
General	Elective	法学	0032	School Credit	2														2	2						Imada Hiroyuki	
General	Elective	哲学	0033	School Credit	2														2	2						Fujii Taketo	
General	Elective	体育	0034	School Credit	1															2						Arai Osamu	
General	Elective	化学 3	0035	Academic Credit	2															2							
General	Elective	英語の語彙・文法（１）	0036	School Credit	1														2								
General	Elective	英語の語彙・文法（２）	0037	School Credit	1															2						Katsufuji Kazuko	
General	Elective	経済学	0038	Academic Credit	2																			2		Imada Hiroyuki	
General	Elective	バイオテクノロジー	0039	Academic Credit	2																			2			
General	Elective	体育	0040	School Credit	1																2					Arai Osamu	
General	Elective	英語総合 2	0041	Academic Credit	2																2					Katsufuji Kazuko	
General	Elective	日本語の表現	0042	Academic Credit	2																2					Nishikori Hirofumi	
General	Elective	英語の語彙・文法（３）	0043	School Credit	1																2					Tanaka Toshihiro	
General	Elective	英語の語彙・文法（４）	0044	School Credit	1																			2		Fujii Hiromi	
General	Elective	中国語	0045	School Credit	1																			2		Zheng Tao	

Anan College		Year	2012		Course Title	基礎数学 2
Course Information						
Course Code	0010			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 4	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	2nd	
Term	Year-round			Classes per Week	4	
Textbook and/or Teaching Materials	数学Ⅱ（数研出版）、微分積分-改-（裳華房）/はぎ取り式練習ドリル数学Ⅱ、Ⅲ（数研出版）					
Instructor						
Course Objectives						
1. 各種方程式、不等式を自在に解くことができる。 2. 方程式や不等式の表す図形や領域を作図できる。また、図形や領域を方程式や不等式で表すことができる。 3. 極限と微分の計算が確実にできる。 4. 微分を使って接線の方程式や増減表を求めることができる。また、増減表からグラフ描画と極値を求めることができる。 5. 不定積分と定積分の計算が確実にできる。また、定積分を使って面積を求めることができる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	3 次以上の高次方程式の解を求めることができる。関数の増減表を使って不等式を解くことができる。		3 次方程式を因数分解し、解の公式を使って方程式、不等式を解くことができる。		3 次方程式を因数分解して、2 次以下の式の積で表すことができない。	
Achievement 2	複雑な領域を方程式と不等式を用いて表すことができる。		方程式や不等式の表す図形や領域を作図できる。また、図形や領域を方程式や不等式で表すことができる。		方程式や不等式の表す図形や領域を作図できない。また、図形や領域を方程式や不等式で表すことができない。	
Achievement 3	複雑な合成関数の極限や微分を計算することができる。		極限と微分の計算が確実にできる。		極限と微分の計算が確実にできない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。					
Style	本授業では、高専数学での最重要事項である各種関数の取り扱い方、方程式の解き方、微分と積分の計算とその応用方法について学習する。					
Notice	1. 授業に集中して効率的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 2. 定期試験の勉強同様に、実力試験や小テストの勉強、宿題にも全力で取り組むこと。 3. 宿題などの課題は、提出期限を厳守すること。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	方程式・式と証明		整式の乗法・除法ができる。	
		2nd	方程式・式と証明		整式の除法や因数定理を使って、式を因数分解できる。	
		3rd	方程式・式と証明		整式の除法や因数定理を使って、式を因数分解できる。	
		4th	方程式・式と証明		因数分解を使って、高次方程式の解を求めることができる。	
		5th	方程式・式と証明		因数分解を使って、高次方程式の解を求めることができる。	
		6th	方程式・式と証明		分数式の加減乗除の計算ができる。	
		7th	方程式・式と証明		分数式の加減乗除の計算ができる。	
		8th	前期中間試験			
	2nd Quarter	9th	図形と方程式		座標平面上の 2 点間の距離を求めることができる。	
		10th	図形と方程式		内分点、外分点、三角形の重心の座標を求めることができる。	
		11th	図形と方程式		内分点、外分点、三角形の重心の座標を求めることができる。	
		12th	図形と方程式		直線、円の方程式を求めることができる。	
		13th	図形と方程式		直線、円の方程式を求めることができる。	
		14th	図形と方程式		不等式の表す領域を図示できる。	
		15th	図形と方程式		不等式の表す領域を図示できる。	
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	微分積分の基礎		関数の極限を求めることができる。	
		2nd	微分積分の基礎		微分ができる。微分係数を求めることができる。	
		3rd	微分積分の基礎		関数の接線の方程式を求めることができる。	
		4th	微分積分の基礎		不定積分、定積分ができる。	
		5th	微分積分の基礎		不定積分、定積分ができる。	
		6th	微分積分の基礎		定積分を使って、図形の面積を求めることができる。	
		7th	微分積分の基礎		定積分を使って、図形の面積を求めることができる。	
		8th	後期中間試験			
	4th Quarter	9th	微分		分数関数、三角関数の極限を求めることができる。	
		10th	微分		分数関数、三角関数の極限を求めることができる。	

		11th	微分	積の微分、商の微分、合成関数の微分ができる。
		12th	微分	積の微分、商の微分、合成関数の微分ができる。
		13th	微分	三角関数の計算が自在にでき、その微分ができる。
		14th	微分	三角関数の計算が自在にでき、その微分ができる。
		15th	微分	三角関数の計算が自在にでき、その微分ができる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	90	0	0	0	10	0	100
Basic Proficiency	90	0	0	0	10	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	数学B
Course Information						
Course Code	0011			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	2nd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	「高等学校 数学B」岡部恒治ほか著 数研出版/「新課程チャート式基礎と演習 数学Ⅱ+B」					
Instructor						
Course Objectives						
1. ベクトルの基本的な計算ができる。 2. 平面および空間の成分表示ができ、基本的な計算ができる。 3. 平面および空間ベクトルの内積を求めることができる。 4. 平面および空間内の直線・平面・円・球の方程式を求めることができる。 5. 等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができ、総和記号を用いて数列の和が計算できる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	やや複雑なベクトルの和・差・定数倍の計算ができる。		ベクトルの和・差・定数倍の計算ができる。		ベクトルの和・差・定数倍の計算ができない。	
Achievement 2	平面および空間ベクトルの成分表示ができ、複雑な計算ができる。		平面および空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。		平面および空間ベクトルの成分表示ができない、または、複雑な計算ができない。	
Achievement 3	平面および空間の内積を求めることができ、内積を用いてベクトルの大きさが計算できる。		平面および空間の内積を求めることができる。		平面および空間の内積を求めることができない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	数学は工業高校において根幹となる科目である。本授業では、平面および空間のベクトルの概念を学習し、基本的なベクトルの計算方法を習得する。数列では規則に従って並ぶ数やその和、および漸化式の概念を学習する。					
Style						
Notice	1. 授業に集中し、効果的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 2. 定期試験はもちろん重要であるが、平常の小テスト、提出物等での努力を怠らないこと。 3. 課題等提出物の提出期限は厳守すること。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	平面上のベクトルとその演算	ベクトルの定義を説明できる。 平面の和・差・定数倍の計算ができる。 平面ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 平面ベクトルの内積やベクトルのなす角を求めることができる。		
		2nd	平面上のベクトルとその演算	ベクトルの定義を説明できる。 平面の和・差・定数倍の計算ができる。 平面ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 平面ベクトルの内積やベクトルのなす角を求めることができる。		
		3rd	平面上のベクトルとその演算	ベクトルの定義を説明できる。 平面の和・差・定数倍の計算ができる。 平面ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 平面ベクトルの内積やベクトルのなす角を求めることができる。		
		4th	平面上のベクトルとその演算	ベクトルの定義を説明できる。 平面の和・差・定数倍の計算ができる。 平面ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 平面ベクトルの内積やベクトルのなす角を求めることができる。		
		5th	平面上のベクトルとその演算	ベクトルの定義を説明できる。 平面の和・差・定数倍の計算ができる。 平面ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 平面ベクトルの内積やベクトルのなす角を求めることができる。		
		6th	平面上のベクトルとその演算	ベクトルの定義を説明できる。 平面の和・差・定数倍の計算ができる。 平面ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 平面ベクトルの内積やベクトルのなす角を求めることができる。		
		7th	ベクトルと平面図形	位置ベクトルの意味を理解し、線分の内分点・外分点を求めることができる。		
		8th	ベクトルと平面図形	位置ベクトルの意味を理解し、線分の内分点・外分点を求めることができる。		
	2nd Quarter	9th	ベクトルと平面図形	位置ベクトルの意味を理解し、線分の内分点・外分点を求めることができる。		

2nd Semester		10th	ベクトルと平面図形	位置ベクトルの意味を理解し、線分の内分点・外分点を求めることができる。
		11th	ベクトルと平面図形	位置ベクトルの意味を理解し、線分の内分点・外分点を求めることができる。
		12th	前期中間試験	
		13th	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		14th	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		15th	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		16th		
	3rd Quarter	1st	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		2nd	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		3rd	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		4th	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		5th	空間のベクトル	座標空間を理解し、座標平面に平行な平面の方程式が いえる。 空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 空間ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。 空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる。
		6th	数列とその和	等差数列の一般項やその和を求めることができる。 等比数列の一般項やその和を求めることができる。
		7th	数列とその和	等差数列の一般項やその和を求めることができる。 等比数列の一般項やその和を求めることができる。
		8th	数列とその和	等差数列の一般項やその和を求めることができる。 等比数列の一般項やその和を求めることができる。
	4th Quarter	9th	数列とその和	等差数列の一般項やその和を求めることができる。 等比数列の一般項やその和を求めることができる。
		10th	数列とその和	等差数列の一般項やその和を求めることができる。 等比数列の一般項やその和を求めることができる。
		11th	数列とその和	等差数列の一般項やその和を求めることができる。 等比数列の一般項やその和を求めることができる。
		12th	後期中間試験	
		13th	漸化式	総和記号を用いた基本的な数列の和を計算することができる。

		14th	漸化式	総和記号を用いた基本的な数列の和を計算することができる。			
		15th					
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	90	0	0	0	10	0	100
Basic Proficiency	90	0	0	0	10	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	英語 2
Course Information						
Course Code		0013		Course Category	General / Compulsory	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade	2nd	
Term		Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		POLSTAR English Communication II 及び準拠ナビゲーションノート、ワークブック Standaed（数研出版）、Data Base 3000 及び準拠定着ノートC（桐原書店）/Harvest 3rd.Ed.（桐原書店）				
Instructor						
Course Objectives						
1. 200語～300語程度の英文を正確に理解できるようになる。 2. 教科書・語彙集などの教材で扱われている語句及び重要表現を理解し、運用できるようになる。 3. 教科書で取り上げた文法項目を理解し、運用できるようになる。						
Rubric						
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level
Achievement 1		200語～300語程度の英文を精読し、内容や文の構造を正確に理解できる。		200語～300語程度の英文を精読し、内容をほぼ正確に理解できる。		左記のレベルに達しない。
Achievement 2		教科書・語彙集などの教材で学習した語彙・表現を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。		教科書・語彙集などの教材で学習した語彙・表現を理解し、スペルを書くことができる。		左記のレベルに達しない。
Achievement 3		教科書で取り上げた文法事項や構文を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で理解できる。		左記のレベルに達しない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		教科書の読み物の読解演習を通して、英語の4技能の総合的運用能力の向上を目指す。				
Style						
Notice		1. 授業には英和辞書（電子辞書可）を持参すること。 2. オリエンテーションで説明するやり方で十分予習・復習を行うこと。 3. 下記授業計画以外に便宜小テスト、実力テストを実施する。				
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester r	1st Quarter	1st	オリエンテーション		シラバスの確認、学習方法の解説	
		2nd	Lesson1～3		教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了不定形、不定詞の受動態、助動詞＋過去分詞、関係節の継続用法、進行形の受動態を含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。	
		3rd	Lesson1～3		教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了不定形、不定詞の受動態、助動詞＋過去分詞、関係節の継続用法、進行形の受動態を含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。	
		4th	Lesson1～3		教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了不定形、不定詞の受動態、助動詞＋過去分詞、関係節の継続用法、進行形の受動態を含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。	
		5th	Lesson1～3		教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了不定形、不定詞の受動態、助動詞＋過去分詞、関係節の継続用法、進行形の受動態を含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。	
		6th	Lesson1～3		教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了不定形、不定詞の受動態、助動詞＋過去分詞、関係節の継続用法、進行形の受動態を含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。	
		7th	Lesson1～3		教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了不定形、不定詞の受動態、助動詞＋過去分詞、関係節の継続用法、進行形の受動態を含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。	
		8th	前期中間試験			

		9th	Lesson4~6	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了形の分詞構文、未来完了形、句や節を受けるwhich、be+to不定詞を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		10th	Lesson4~6	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了形の分詞構文、未来完了形、句や節を受けるwhich、be+to不定詞を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		11th	Lesson4~6	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了形の分詞構文、未来完了形、句や節を受けるwhich、be+to不定詞を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
	2nd Quarter	12th	Lesson4~6	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了形の分詞構文、未来完了形、句や節を受けるwhich、be+to不定詞を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		13th	Lesson4~6	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了形の分詞構文、未来完了形、句や節を受けるwhich、be+to不定詞を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		14th	Lesson4~6	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了形の分詞構文、未来完了形、句や節を受けるwhich、be+to不定詞を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		15th	Lesson4~6	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 完了形の分詞構文、未来完了形、句や節を受けるwhich、be+to不定詞を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		16th		
		1st	Lesson7~9	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 複合関係詞、仮定法現在を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		2nd	Lesson7~9	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 複合関係詞、仮定法現在を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		3rd	Lesson7~9	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 複合関係詞、仮定法現在を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		4th	Lesson7~9	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 複合関係詞、仮定法現在を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		5th	Lesson7~9	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 複合関係詞、仮定法現在を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
		6th	Lesson7~9	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 複合関係詞、仮定法現在を含む構文を理解し、英作等に应用できるようになる。
2nd Semester	3rd Quarter			

		7th	Lesson7~9	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 複合関係詞、仮定法現在を含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	Lesson10~12	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 過去分詞の分詞構文、様々な仮定法、付帯状況のwithを含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		10th	Lesson10~12	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 過去分詞の分詞構文、様々な仮定法、付帯状況のwithを含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		11th	Lesson10~12	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 過去分詞の分詞構文、様々な仮定法、付帯状況のwithを含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		12th	Lesson10~12	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 過去分詞の分詞構文、様々な仮定法、付帯状況のwithを含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		13th	Lesson10~12	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 過去分詞の分詞構文、様々な仮定法、付帯状況のwithを含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		14th	Lesson10~12	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 過去分詞の分詞構文、様々な仮定法、付帯状況のwithを含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		15th	Lesson10~12	教科書で扱った英文の構造と意味を正確に理解できるようになる。 教科書・語彙集で扱った単語及び重要表現を理解し、運用できる。 過去分詞の分詞構文、様々な仮定法、付帯状況のwithを含む構文を理解し、英作等に応用できるようになる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	10	20	10	100
Basic Proficiency	60	0	0	10	20	10	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	英会話英作文
Course Information						
Course Code	0015		Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade	2nd		
Term	Year-round		Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	Identify, Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida, Oxford University Press2004					
Instructor	Christopher Prowant					
Course Objectives						
1. Improve basic communication skill 2. Gain confidence in speaking, listening, and writing skills 3. Develop listening strategies using native English 4. Develop common sense and critical thinking skills, especially regarding communication						
Rubric						
		Ideal Level	Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1		Students are able to converse smoothly with one another and the native teacher.	Students can answer a question or make a comment in a few words and speak freely in a group.		Students cannot understand the majority of exercises and activities and cannot speak easily.	
Achievement 2		Students speak their opinions directry and utilize critical thinking skills in English.	Students can answer the majority of questions, listen attentively and write their ideas clearly.		Students remain passive, do not express themselves and cannot comprehend the lecture.	
Achievement 3		Students can take notes entirely in English, and can present their ideas clearly and concisely.	Students can take notes in Japanese, and grasp the main idea of the lecture but not the details.		Students can take notes in Japanese and do not understand much of the lecture.	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	This course uses basic English which is necessary to understand interculture relations. We will do extensive speaking and listening exercises. Reading and writing communication exercises will also be given daily.					
Style						
Notice	1. Students will come to class prepared. 2. Sleeping in class or using a cell phone (keitai) in class equals one tardiness on the first warning. 3. Students will keep their name tag on the desk durling the class. 4. Students will laugh and have fun.					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester r	1st Quarter	1st	Unit1 Identity		Characteristics, Feelings and Beliefs	
		2nd	Unit1 Identity		Characteristics, Feelings and Beliefs	
		3rd	Unit2 Values		Families, Cultures and Personalities	
		4th	Unit2 Values		Families, Cultures and Personalities	
		5th	Unit3 Culture Shock		Life Experiences, Confusion when Traveling Abroad	
		6th	Unit3 Culture Shock		Life Experiences, Confusion when Traveling Abroad	
		7th	Unit3 Culture Shock		Life Experiences, Confusion when Traveling Abroad	
		8th	Mid Term Exam			
	2nd Quarter	9th	Unit4 Culture in Language		Language reflects the culture of people who speak it.	
		10th	Unit4 Culture in Language		Language reflects the culture of people who speak it.	
		11th	Unit5 Body Language and Customs		Customs and Non-verbal Communication	
		12th	Unit5 Body Language and Customs		Customs and Non-verbal Communication	
		13th	Unit6 Individualism		Independent vs Collectivist Culture	
		14th	Unit6 Individualism		Independent vs Collectivist Culture	
		15th	Unit6 Individualism		Independent vs Collectivist Culture	
		16th				
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	Unit7 Politeness		Courtesy and Respect, Formal vs Casual	
		2nd	Unit7 Politeness		Courtesy and Respect, Formal vs Casual	
		3rd	Unit8 Communication Styles		Reserved, Flexible and Expressive style	
		4th	Unit8 Communication Styles		Reserved, Flexible and Expressive style	
		5th	Unit9 Gender and Culture		Men and Women; Different contexts and cultures	
		6th	Unit9 Gender and Culture		Men and Women; Different contexts and cultures	
		7th	Unit9 Gender and Culture		Men and Women; Different contexts and cultures	
		8th	Second Mid Term Exam			

	4th Quarter	9th	Unit10 Diversity	Stereotypes, Racism, Interest in Diversity
		10th	Unit10 Diversity	Stereotypes, Racism, Interest in Diversity
		11th	Unit11 Social Culture	Discrimination, Modern Times, Traditional Values
		12th	Unit11 Social Culture	Discrimination, Modern Times, Traditional Values
		13th	Unit12 Global Community	Various cultures with good relationships
		14th	Unit12 Global Community	Various cultures with good relationships
		15th	Unit12 Global Community	Various cultures with good relationships
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	5	0	5	20	10	100
Basic Proficiency	60	5	0	5	20	10	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	物理
Course Information						
Course Code	0016			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	2nd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	物理基礎、物理（数研）/リードα（数研）					
Instructor	Matsuo Toshihiro					
Course Objectives						
1. 物体の基本的な運動において力学的エネルギー保存則を表す式を立てることができる 2. 運動量や力積を用いて速度の変化や加えられた力を求めることができる 3. 円運動や単振動に関する基本的な問題を扱うことができ、周期などの物理量を求めることができる 4. 熱量の保存を用いて物体の熱容量や比熱を求めることができる 5. 熱力学第一法則にもとづいて気体の状態変化を説明できる						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	力学的エネルギー保存則を表す式をたて、それを用いて物体の運動を決定することができる		物体の基本的な運動において力学的エネルギー保存則を表す式を立てることができる		物体の基本的な運動において力学的エネルギー保存則を表す式を立てることができない	
Achievement 2	運動方程式から運動量と力積の関係を説明でき、それらを用いて運動の諸量を求め得ることができる		運動量や力積を用いて速度の変化や加えられた力を求めることができる		運動量や力積を用いて速度の変化や加えられた力を求めることができない	
Achievement 3	円運動と単振動の関係を説明でき、お互いの問題解決に利用することができる		円運動や単振動に関する基本的な問題を扱うことができ、周期などの物理量を求めることができる		円運動や単振動に関する基本的な問題を扱うことができ、周期などの物理量を求めることができない	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	物理学は自然現象の探求を目的として発展した学問であるが、その成果は現代科学技術の基礎としてあらゆる分野に使われている。					
Style	本講義では、物理学の学習を通じて自然現象を系統的・論理的に考えていく力を養い、広く自然の諸現象を科学的に解明するための物理的な見方、考え方を身につける。2年では、力学、熱力学を中心に学習する。					
Notice	予習・講義・演習・復習・小テストで自分の理解度を確認しながら学習を進めてください。なお、本講義は前期開講の「物理実験・演習」とリンクしています。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	仕事と力学的エネルギー	仕事とエネルギーの関係を説明できる		
		2nd	仕事と力学的エネルギー	仕事とエネルギーの関係を説明できる		
		3rd	仕事と力学的エネルギー	仕事とエネルギーの関係を説明できる		
		4th	運動量の保存	運動量保存則を用いて物体の速度を計算できる		
		5th	運動量の保存	運動量保存則を用いて物体の速度を計算できる		
		6th	運動量の保存	運動量保存則を用いて物体の速度を計算できる		
		7th	運動量の保存	運動量保存則を用いて物体の速度を計算できる		
		8th	前期中間試験			
	2nd Quarter	9th	円運動	円運動する物体の速度、加速度の関係をつかって円運動を説明できる		
		10th	円運動	円運動する物体の速度、加速度の関係をつかって円運動を説明できる		
		11th	円運動	円運動する物体の速度、加速度の関係をつかって円運動を説明できる		
		12th	単振動	単振動の運動方程式を扱うことができ、周期などの基本的諸量が計算できる		
		13th	単振動	単振動の運動方程式を扱うことができ、周期などの基本的諸量が計算できる		
		14th	万有引力	2物体間の間に働く万有引力を求めることができる		
		15th	万有引力	2物体間の間に働く万有引力を求めることができる		
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	熱とエネルギー	熱量の保存を用いて物体の比熱を計算できる		
		2nd	熱とエネルギー	熱量の保存を用いて物体の比熱を計算できる		
		3rd	熱とエネルギー	熱量の保存を用いて物体の比熱を計算できる		
		4th	気体の法則	気体の法則を用いて気体の状態を計算できる		
		5th	気体の法則	気体の法則を用いて気体の状態を計算できる		
		6th	気体分子の運動	気体分子の運動によって温度や圧力などの巨視的量を説明できる		
		7th	気体分子の運動	気体分子の運動によって温度や圧力などの巨視的量を説明できる		
		8th	後期中間試験			
	4th Quarter	9th	熱力学第一法則と気体の状態変化	熱力学第一法則により気体の状態変化を説明でき、状態量の計算ができる		

		10th	熱力学第一法則と気体の状態変化	熱力学第一法則により気体の状態変化を説明でき、状態量の計算ができる
		11th	熱力学第一法則と気体の状態変化	熱力学第一法則により気体の状態変化を説明でき、状態量の計算ができる
		12th	不可逆変化と熱機関	熱が関与する変化は一般に不可逆であることを説明できる
		13th	不可逆変化と熱機関	熱が関与する変化は一般に不可逆であることを説明できる
		14th	波の性質	波の基本的性質を理解し、波の速さや振動数を計算できる
		15th	波の性質	波の基本的性質を理解し、波の速さや振動数を計算できる
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	10	20	10	100
Basic Proficiency	40	0	0	10	10	10	70
Specialized Proficiency	20	0	0	0	5	0	25
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	5	0	5

Anan College		Year	2012		Course Title	化学 2	
Course Information							
Course Code	0018			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	2nd		
Term	Year-round			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	高等学校 化学 I 基礎（第 1 学習社）/これでわかる化学（三共出版）						
Instructor							
Course Objectives							
1. 酸化還元反応の量的な計算ができる。 2. 無機物質の特徴を理解できる。 3. 有機化合物の特徴を理解できる。							
Rubric							
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	酸化還元反応を理解して量的な計算ができる。			酸化還元反応の量的な計算ができる。		酸化還元反応の量的な計算ができない。	
Achievement 2	無機物質の特徴を理解でき、説明できる。			無機物質の特徴を理解できる。		無機物質の特徴を理解できない。	
Achievement 3	有機化合物の特徴を理解でき、説明できる。			有機化合物の特徴を理解できる。		有機化合物の特徴を理解できない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	本講義は 1 年の学習をふまえて、さらに深い化学的知識を身につけることを目的としている。						
Style	先ず、酸化還元反応について学んだ後、無機物質・有機物質の諸性質について学習していく。						
Notice							
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	酸化還元反応		酸化と還元		
		2nd	酸化還元反応		酸化と還元		
		3rd	酸化還元反応		酸化剤と還元剤の反応		
		4th	酸化還元反応		酸化剤と還元剤の反応		
		5th	酸化還元反応		金属のイオン化傾向		
		6th	酸化還元反応		金属のイオン化傾向		
		7th	酸化還元反応		金属のイオン化傾向		
		8th	中間試験				
	2nd Quarter	9th	酸化還元反応		酸化還元反応の利用		
		10th	酸化還元反応		酸化還元反応の利用		
		11th	酸化還元反応		電池		
		12th	酸化還元反応		電池		
		13th	酸化還元反応		電気分解		
		14th	酸化還元反応		電気分解		
		15th	酸化還元反応		電気分解		
		16th					
2nd Semester	3rd Quarter	1st	無機物質		非金属元素の単体と化合物		
		2nd	無機物質		非金属元素の単体と化合物		
		3rd	無機物質		典型金属元素の単体と化合物		
		4th	無機物質		典型金属元素の単体と化合物		
		5th	無機物質		遷移元素の単体と化合物		
		6th	無機物質		遷移元素の単体と化合物		
		7th	無機物質		遷移元素の単体と化合物		
		8th	中間試験				
	4th Quarter	9th	有機物質		有機化合物の特徴と分類		
		10th	有機物質		脂肪族炭化水素		
		11th	有機物質		脂肪族炭化水素		
		12th	有機物質		酸素を含む脂肪族化合物		
		13th	有機物質		酸素を含む脂肪族化合物		
		14th	有機物質		芳香族化合物		
		15th	有機物質		芳香族化合物		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total

Subtotal	80	0	0	0	10	10	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	10	10	80
Specialized Proficiency	10	0	0	0	0	0	10
Cross Area Proficiency	10	0	0	0	0	0	10

Anan College		Year	2012		Course Title	世界史
Course Information						
Course Code	0019			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	2nd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	世界史 B（東京書院）/歴史年表（東京書院）					
Instructor	Hamada Kaori					
Course Objectives						
1. 日本列島の歴史と関連付けながら世界の歴史を理解できる。 2. 人類が各地の自然環境に適応しながら、諸文明を築き上げ、地域世界を形成したことを理解できる。 3. 民族問題などの文化的相違に起因する諸問題について、歴史的観点から説明できる。 4. 現代社会におけるあらゆる問題が地球規模のものであることを理解し、将来の課題を考えることができる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	日本列島の歴史と関連付けながら世界の歴史に関する基礎的な知識について、詳細に説明できる。		日本列島の歴史と関連付けながら世界の歴史に関する基礎的な知識について、説明できる。		日本列島の歴史と関連付けながら世界の歴史に関する基礎的な知識について、十分に説明できない。	
Achievement 2	人類が築いた諸文明に関する基礎的な知識について、詳細に説明できる。		人類が築いた諸文明に関する基礎的な知識について、十分に説明できる。		人類が築いた諸文明に関する基礎的な知識について、十分に説明できない。	
Achievement 3	民族問題などの文化的相違に起因する諸問題について、歴史的観点から詳細に説明できる。		民族問題などの文化的相違に起因する諸問題について、歴史的観点から説明できる。		民族問題などの文化的相違に起因する諸問題について、歴史的観点から十分に説明できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	世界の歴史への興味・関心を高め、世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解する。世界史の学習により、日本の歴史を世界の様々な地域の歴史と比較して考察する力や日本を外から見る視点を養う。国家間や国家内でみられる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、歴史的観点から理解し、文化に多様性を認識し、お互いの文化を尊重する態度を身につける。					
Style						
Notice	講義での学習内容を定期試験で確認しますので、講義を毎回しっかり聴くことを心がけてください。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	さまざまな地域世界		オリエント世界と東地中海世界・地中海世界の成り立ちを説明できる。	
		2nd	さまざまな地域世界		世界・地中海世界の成り立ちを説明できる。	
		3rd	さまざまな地域世界		南アジア世界・東アジア世界における各王朝について説明できる。	
		4th	さまざまな地域世界		南アジア世界・東アジア世界における各王朝について説明できる。	
		5th	さまざまな地域世界		内陸ユーラシア世界・東南アジア世界・古アメリカ世界について説明できる。	
		6th	結び合う地域世界		イスラーム世界の形成について説明できる。	
		7th	結び合う地域世界		イスラーム世界の形成について説明できる。	
		8th	中間試験			
	2nd Quarter	9th	結び合う地域世界		ヨーロッパ世界の形成について説明できる。	
		10th	結び合う地域世界		ヨーロッパ世界の形成について説明できる。	
		11th	結び合う地域世界		東アジア世界の変容とモンゴル帝国について説明できる。	
		12th	結び合う地域世界		東アジア世界の変容とモンゴル帝国について説明できる。	
		13th	一体化する世界		ユーラシア諸帝国の繁栄について説明できる。	
		14th	一体化する世界		近世のヨーロッパについて説明できる。	
		15th	一体化する世界		近世のヨーロッパについて説明できる。	
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	一体化の進展と世界の再編		欧米における工業化と国民国家の形成について説明できる。	
		2nd	一体化の進展と世界の再編		欧米における工業化と国民国家の形成について説明できる。	
		3rd	一体化の進展と世界の再編		欧米における工業化と国民国家の形成について説明できる。	
		4th	一体化の進展と世界の再編		産業資本主義の発展と帝国主義について説明できる。	
		5th	一体化の進展と世界の再編		産業資本主義の発展と帝国主義について説明できる。	
		6th	一体化の進展と世界の再編		アジア諸地域に変革運動について説明できる。	
		7th	一体化の進展と世界の再編		アジア諸地域に変革運動について説明できる。	
		8th	後期中間試験			

	4th Quarter	9th	地球世界の成立	世界戦争が起きた背景とその経過を説明できる。
		10th	地球世界の成立	世界戦争が起きた背景とその経過を説明できる。
		11th	地球世界の成立	世界戦争が起きた背景とその経過を説明できる。
		12th	地球世界の成立	国民国家体制と東西の対立について説明できる。
		13th	地球世界の成立	国民国家体制と東西の対立について説明できる。
		14th	地球世界の成立	経済のグローバル化と地域統合について説明できる。
		15th	地球世界の成立	新しい国際秩序について理解し、諸課題への取り組みを考えることができる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	100
Basic Proficiency	70	0	0	0	30	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	地理
Course Information						
Course Code	0020		Course Category		General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits		School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		2nd	
Term	Year-round		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials	新詳地理(帝国書院)/新詳高等地図(帝国書院)					
Instructor	Miyamoto Kakuwa					
Course Objectives						
1. 自然環境、資源、産業、都市・村落、生活文化に関する地域性について系統地理的に理解できる。 2. 現代世界を構成する各地域を地誌的に考察し、多様な特色を持っていることを理解できる。 3. 地理的に考察する意義や有用性に気づき、地理的な見方や考え方を身につけられる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	自然環境と人間生活のかかわりと地域性について、地理的事象から課題を設定し、追究できる。		自然環境と人間生活のかかわりと地域性を系統地理的に理解し、それらの知識を身につけて説明できる。		自然環境と人間生活について、個別の事象のみ説明できる。	
Achievement 2	現代社会の各地域に関する資料や情報を地誌的に追究する技能を身につけ、まとめることができる。		現代社会の各地域について、多様な特色があることを理解し、それらの知識を身につけて説明できる。		現代社会の各地域について、特定の国・項目についてのみ説明できる。	
Achievement 3	現代世界の多様性や地域性をとらえる視点や方法を考察し、系統地理・地誌の両面から説明できる。		地理的に考察する意義と有用性に気づき、現代世界と日本を概観し、地理的事象について説明できる。		地図を見て、現代社会の各地域の位置と地形のみ説明できる。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
Style						
Notice	都道府県名や主要国名、首都名などは地理学習の基本です。地図帳を開く習慣を身につけてください。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	地理情報と地図、地図の活用	地図でとらえる現代世界について、地図化のメリットや地図化だわかることを考察し、地図化の技能を習得している。		
		2nd	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。		
		3rd	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。		
		4th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。		
		5th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。		
		6th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。		
		7th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。		
		8th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。		
	2nd Quarter	9th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。		
		10th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。		
		11th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。		
		12th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。		
		13th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。		
		14th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。		
		15th	前期末試験			
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	人口、村落・都市	村落・都市の立地や発達・機能に関する資料や情報を系統地理的に追究する技能を身につけている。		
		2nd	人口、村落・都市	村落・都市の立地や発達・機能に関する資料や情報を系統地理的に追究する技能を身につけている。		
		3rd	人口、村落・都市	村落・都市の立地や発達・機能に関する資料や情報を系統地理的に追究する技能を身につけている。		

		4th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
		5th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
		6th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
		7th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
		8th	現代世界の地域区分	地域区分の目的と方法について理解するとともに、地域区分してとらえる有用性を理解している。
	4th Quarter	9th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
		10th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
		11th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
		12th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
		13th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
		14th	現代世界と日本	日本が抱える地理的な諸課題を認識し、解決の方向性を考察できる。
		15th	学年末試験	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	80	0	0	0	20	0	100
Basic Proficiency	80	0	0	0	20	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	英語 3
Course Information						
Course Code		0022		Course Category	General / Compulsory	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 3	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade	3rd	
Term		Year-round		Classes per Week	3	
Textbook and/or Teaching Materials		Pole Star 他/Reading Adventure 2				
Instructor						
Course Objectives						
1. 300語～400語程度の英文を速読し大意を把握できるようにする。 2. 本文で使われている重要語句と語彙集で取り上げた語句を習得する。 3. 本文および文法参考書で取り上げた文法事項を理解する。 4. リスニング力の向上を図る。						
Rubric						
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level
Achievement 1		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句を、主な派生語も含め理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句をほぼ理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した語句に理解できないものが多く残っている。
Achievement 2		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句を、主な派生語も含め理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句をほぼ理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した語句に理解できないものが多く残っている。
Achievement 3		教科書の読み物の英文で学んだ重要語句・重要文法事項を他の英文の理解にも応用できる。		教科書の読み物の英文を、パートごとに重要語句・重要文法事項を含めほぼ理解できた。		教科書の読み物の英文について、理解できないところが多く残っている。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline						
Style		速読テクニックを意識しながら、300語～400語程度の英文の読解演習を行います。授業や予復習に際しては、ワークブック・補助プリントを併用し、本文に使われた語彙や文法事項を確認し、英語の総合的運動能力の向上を目指します。文法・構文力は、2年次から使用している文法参考書・ワークブックを併用して補強します。語彙力は、1年次から使用している語彙集も用いて補強します。リスニング演習、英語DVDの視聴も行います。				
Notice		1. 授業には必ず英和辞典（電子辞書可）を持参すること。 2. 教科書の語句・語彙集の語句について適宜小テスト、課題自習プリントを課す。 3. 自習課題としてe-learningを行う。 4. 提出物の提出期限は厳守すること。				
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		2nd	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		3rd	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		4th	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		5th	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		6th	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		7th	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		8th	Polestar Lesson1～4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
	2nd Quarter	9th	前期中間試験			
		10th	Polestar Lesson5～7 Reading Adventures Unit4～5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		11th	Polestar Lesson5～7 Reading Adventures Unit4～5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		12th	Polestar Lesson5～7 Reading Adventures Unit4～5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		13th	Polestar Lesson5～7 Reading Adventures Unit4～5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		14th	Polestar Lesson5～7 Reading Adventures Unit4～5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		15th	Polestar Lesson5～7 Reading Adventures Unit4～5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Polestar Lesson8～10 Reading Adventures Unit6～7+Review3		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。	

		2nd	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		3rd	Polestar Lesson8~10 Reading Adventures Unit6~7+Review3	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		4th	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		5th	Polestar Lesson8~10 Reading Adventures Unit6~7+Review3	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		6th	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		7th	Polestar Lesson8~10 Reading Adventures Unit6~7+Review3	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		8th	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
	4th Quarter	9th	後期中間試験	
		10th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		11th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		12th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		13th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		14th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		15th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	15	15	10	100
Basic Proficiency	60	0	0	15	15	10	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	微分積分
Course Information						
Course Code	0023			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 4	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	3rd	
Term	Year-round			Classes per Week	4	
Textbook and/or Teaching Materials	微分積分 改訂版、矢野健太郎編、裳華房/新課程チャート式数学Ⅲ 数研練習ドリル数学Ⅲ					
Instructor						
Course Objectives						
1. 関数の極限の意味を理解していろいろな関数の極限計算ができる。 2. 導関数の公式および種々の計算技法を習得して微分計算ができて接線や極値が求められる。 3. 基本的な関数の不定積分と定積分の計算ができて面積や長さ計算に応用できる。 4. 偏微分の基本的な計算ができて2変数関数の極値が求められる。 5. 重積分の基本的な計算ができて体積計算に応用できる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	関数の極限の意味を理解していろいろな関数の極限計算が常時できる。		関数の極限の意味を理解していろいろな関数の極限計算ができる。		関数の極限計算ができない。	
Achievement 2	導関数の公式および種々の計算技法を習得して微分計算が常時でき、接線や極値などを常時求められる。		導関数の公式および種々の計算技法を習得して微分計算ができ、接線や極値が求められる。		導関数の公式および種々の計算技法を習得せず、微分の計算やその応用ができない。	
Achievement 3	積分の公式や置換積分など種々の計算技法を習得して積分計算が常時でき、面積などにも常時応用できる。		積分の公式や置換積分など種々の計算技法を習得して積分計算ができ、面積などに応用できる。		積分計算ができない。定積分を面積計算に応用できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。本科目では極限、微分法および積分法についての理解を深め、関数の解析、図形の計量に応用できる知識と技能を習得する。また偏微分、重積分の基本的な考え方を理解し、計算力を養う。					
Style						
Notice	1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。予習復習が必須である。 2. 定期試験はもちろん重要であるが、平常の小テスト、提出物等での努力を怠らないこと。 3. 課題等提出物の提出期限を厳守すること。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	微分 数列の極限	いろいろな数列の極限を求めることができる（不定形の意味も理解している）。		
		2nd	無限数列の和	基本的な級数の収束・発散を調べ、その和を求めることができる。		
		3rd	関数の極限	いろいろな数列の極限を求めることができ、ロピタルの定理も使える。		
		4th	微分の計算	三角関数・指数関数・対数関数の導関数を求めることができる。		
		5th	逆三角関数とその微分	逆三角関数を理解している。逆三角関数の導関数を求めることができる。		
		6th	微分の応用 増減、極値、グラフ種々の微分	関数の増減表がかけ、関数の極値を求め、グラフの概形をかくことができる。		
		7th	微分の応用 増減、極値、グラフ種々の微分	高次導関数の計算、媒介変数表示された関数の微分計算ができる。		
		8th	前期中間試験			
	2nd Quarter	9th	不定積分	分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分の計算ができる。		
		10th	不定積分	分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分の計算ができる。		
		11th	不定積分	分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分の計算ができる。		
		12th	不定積分	置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。		
		13th	不定積分	置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。		
		14th	不定積分	置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。		
		15th	不定積分	置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。		
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	定積分 定積分の計算技法	置換積分および部分積分を用いて、定積分を求めることができる。		
		2nd	定積分 定積分の計算技法	置換積分および部分積分を用いて、定積分を求めることができる。		

		3rd	定積分 定積分の計算技法	分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の定積分の計算ができる。
		4th	定積分 定積分の計算技法	分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の定積分の計算ができる。
		5th	定積分の応用	基本的な曲線で囲まれた図形の面積、体積、曲線の長さを求めることができる。
		6th	定積分の応用	基本的な曲線で囲まれた図形の面積、体積、曲線の長さを求めることができる。
		7th	定積分の応用	基本的な曲線で囲まれた図形の面積、体積、曲線の長さを求めることができる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	偏微分 種々の偏微分計算	2変数関数の定義域やグラフを理解し、高次偏微分まで計算できる。
		10th	偏微分 種々の偏微分計算	2変数関数の定義域やグラフを理解し、高次偏微分まで計算できる。
		11th	偏導関数の応用	偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。
		12th	国立高専学習到達度試験	
		13th	重積分 累次積分と重積分	2重積分の定義を理解し、2重積分を累次積分に変形し計算できる。
		14th	極座標変換	順序積分の変更や極座標変換して重積分の計算ができる。
		15th	重積分の応用	2重積分を用いて基本的な立体の体積を求めることができる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	40	0	0	0	10	50	100
Basic Proficiency	40	0	0	0	10	50	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	法学
Course Information						
Course Code	0032			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	アクセス法学（嵯峨野書院）					
Instructor	Imada Hiroyuki					
Course Objectives						
1. 法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できる。 2. 憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できる。 3. 民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。						
Rubric						
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level
Achievement 1	法規範の特質分析や法分類の意義、裁判手続における立証責任の意義について説明できる。			法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できる。		法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できない。
Achievement 2	憲法の基本的人権論に関する判例の意義と課題を説明できる。			憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できる。		憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できない。
Achievement 3	民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。			民法、刑法などの原理・制度について説明できる。		民法、刑法などの原理・制度について説明できない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	この科目では、具体的な法文や訴訟判例を素材に、現行法の制度・運用について検討し、各自が法的思考能力を身に付けることを目標とする。					
Style	授業では、先ず、「法学基礎論」で法学の基礎的知識や方法論を学び、次に「法学各論」で各法分野につき、制度や運用に関する具体的な法文や訴訟判例の検討を通じて、法的思考方法を習得する。					
Notice	日常的に、様々な現実社会の問題について、法的観点から考えてみるようにして下さい。 新しい立法や裁判の動向、権利や自由に関する時事的な話題にも積極的に目を向けましょう。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	法とは何か		社会規範としての法の特徴、法の諸分類について説明できる。	
		2nd	法とは何か		社会規範としての法の特徴、法の諸分類について説明できる。	
		3rd	法の解釈		法の解釈技術について説明できる。	
		4th	法の解釈		法の解釈技術について説明できる。	
		5th	裁判の構造		裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
		6th	裁判の構造		裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
		7th	裁判の構造		裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
		8th	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
	2nd Quarter	9th	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		10th	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		11th	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		12th	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		13th	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		14th	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		15th	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		2nd	消費者保護法		特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		3rd	消費者保護法		特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		4th	消費者保護法		特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		5th	製造物責任法		製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。	

		6th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
		7th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
		8th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
	4th Quarter	9th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
		10th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
		11th	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
		12th	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
		13th	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
		14th	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
		15th		
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	20	0	80
Specialized Proficiency	10	0	0	0	10	0	20
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	哲学
Course Information						
Course Code	0033			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	使用しません。適宜、プリント資料を配付します/高等学校倫理（第一学習社）					
Instructor	Fujii Taketo					
Course Objectives						
1. 哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について説明できる。 2. 議論用資料作成を通して、自分の主張を明確に文章にまとめることができる。 3. 議論を通して、周囲の意見を認めることができる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について、講義内容の詳細を踏まえて、説明できる。		哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について、講義内容の概略を踏まえて、説明できる。		哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について説明できない。	
Achievement 2	論理に矛盾がなく、十分な分量で自分の主張を議論用資料として文章にまとめることができる。		十分な分量で自分の主張を議論用資料として文章にまとめることができる。		論理に矛盾があり、自分の主張が明確には文章にまとめられていない。	
Achievement 3	議論に主体的にかかわり、周囲の意見を尊重できる。		議論にかかわり、周囲の意見を尊重できる。		議論へのかかわりが不十分で、周囲の意見の尊重も不十分である。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	自分自身がつまづきまがな疑問に対して、徹底的に考え抜くことが哲学における基本的態度です。「哲学する」とはどのようなことかについて、西洋と日本の思想を取り上げつつ、講義してゆきます。そして、哲学上の諸問題に関する講義と議論用資料作成を・議論を通して、①それぞれの学生が「哲学する」ことができるように動機づけして、国際人として通用する柔軟な思考を養成します。②それぞれの学生が多様な価値観を認めつつ、自己の確立ができるようになります。					
Style						
Notice	議論のための資料として、適宜、小レポートを提出してもらう予定です。レポートはU S Bメモリー・メール等で受けつけるので、その心づもりをしておいてください。議論は年4回を予定しています。また、講義で述べたことについて定期試験で確認する方針なので、「講義をしっかり聴く」ことを心がけてほしいと思います。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester r	1st Quarter	1st	「哲学」とは？		「哲学」と「思想」との相違について、説明できる。	
		2nd	「哲学」とは？		「哲学」と「思想」との相違について、説明できる。	
		3rd	「哲学」「philosophia」の語		「哲学」の語の由来・「philosophia」の語の由来について、説明できる。	
		4th	「哲学」「philosophia」の語		「philosophia」の語の由来について、説明できる。	
		5th	「哲学」「philosophia」の語		「philosophia」の語の由来について、説明できる。	
		6th	「哲学」「philosophia」の語		「philosophia」の語の由来について、説明できる。	
		7th	議論		資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。	
		8th	西洋における哲学上の諸問題 1		デカルト・ロック等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
	2nd Quarter	9th	西洋における哲学上の諸問題 1		デカルト・ロック等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		10th	西洋における哲学上の諸問題 1		デカルト・ロック等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		11th	西洋における哲学上の諸問題 1		デカルト・ロック等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		12th	西洋における哲学上の諸問題 2		カント・ヘーゲル等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		13th	西洋における哲学上の諸問題 2		カント・ヘーゲル等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		14th	西洋における哲学上の諸問題 2		カント・ヘーゲル等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		15th	議論		資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。	
		16th				
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	日本における哲学上の諸問題 1		『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。	
		2nd	日本における哲学上の諸問題 1		『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。	
		3rd	日本における哲学上の諸問題 1		『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。	
		4th	日本における哲学上の諸問題 2		言霊の思想を中心にした古代人の思想について、説明できる。	

		5th	日本における哲学上の諸問題 2	言霊の思想を中心にした古代人の思想について、説明できる。
		6th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。
		7th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
		8th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
	4th Quarter	9th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
		10th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
		11th	日本における哲学上の諸問題 4	世阿弥等を中心に中世人の思想について、説明できる。
		12th	日本における哲学上の諸問題 4	世阿弥等を中心に中世人の思想について、説明できる。
		13th	日本における哲学上の諸問題 4	世阿弥等を中心に中世人の思想について、説明できる。
		14th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。
		15th		
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	0	32	8	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	32	8	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	英語の語彙・文法（１）	
Course Information							
Course Code	0036			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 1		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th		
Term	First Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	PerfectPracticeTOEIC/Keystone-Grammar-based						
Instructor							
Course Objectives							
1. Students are required to score 375 or over in the TOEIC test. 2. Students are expected to understand listening maetrialala and BBC Short Clips on DVD. 3. You can identify what you see in the photo. 4. You can choose the response that best answer the question. 5. You can interpret the information in advertisements, forms, reports, correspondence, tables, graphes.etc							
Rubric							
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	To score over 500 in the TOEIC test.			To score 430 in the TOEIC test.		To score 300 under. No points.	
Achievement 2	To well understand listening maetrialala and BBC Short Clips on DVD.			To understand listening maetrialala and BBC Short Clips on DVD.		Not to understand listening maetrialala and BBC Short Clips on DVD.	
Achievement 3	To well identify what you see in the photo.			To identify what you see in the photo.		Not to identify what you see in the photo.	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	This class is designed to help students prepare to take the TOEIC test. Students do best when they are familiar with the test format. A through understanding of test diretions and task requirements allow them to focus fully on demonstrating their language proficiency. They develop the test-taking and language skills that they will need do well on the Listening and Reading test.						
Style							
Notice	You will be actively engaged in class activities and tasks. All assignments will be completed in full and turned in on time.						
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	Photographs		To choose the sentence that closeley matches what you see.		
		2nd	Photographs		To choose the sentence that closeley matches what you see.		
		3rd	Question-response		To choose the response that best answers the question.		
		4th	Question-response		To choose the response that best answers the question.		
		5th	Short conversation		To choose the option that best answer the question.		
		6th	Short conversation		To choose the option that best answer the question.		
		7th	Mid Term				
		8th	Short talks		To determine the location, the speaker, the time, the event, or a reason.		
	2nd Quarter	9th	Short talks		To determine the location, the speaker, the time, the event, or a reason.		
		10th	Imcomplete sentence		To choose the best word or phrase.		
		11th	Imcomplete sentence		To choose the best word or phrase.		
		12th	Imcomplete text		To select the best answer to complete the text.		
		13th	Imcomplete text		To select the best answer to complete the text.		
		14th	Reading		To answer the question based on the information in the passage.		
		15th	Reading		To answer the question based on the information in the passage.		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	10	15	15	100
Basic Proficiency	60	0	0	10	15	15	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
---------------------------	---	---	---	---	---	---	---

Anan College		Year	2012		Course Title	英語の語彙・文法（２）	
Course Information							
Course Code		0037		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		4th	
Term		Second Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		Takuya Ishii 他 Overall Skills for the TOEIC Test 成美道、秋葉利治他 対話文で覚える英単語・熟語ダイアログ1200 旺文社/TOEIC テスト新公式問題集vol.1～3					
Instructor		Katsufuji Kazuko					
Course Objectives							
1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 2. 教科書や語彙集で取り上げた語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、正しく運用できる。 3. TOEICスコア 325点～400点を取得できる。							
Rubric							
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に精通し、適切な対応することができる。		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に不慣れで、各パートの問題形式に対応することができない。	
Achievement 2		教科書や語彙集で取り上げた語彙・構文、決まり文句の90％以上を記憶し、正しく運用できる。		教科書や語彙集で取り上げた語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		教科書や語彙集で取り上げた語彙・構文、決まり文句の記憶が60％未満で、運用力が低い。	
Achievement 3		TOEICスコア 400点以上を取得できる。		TOEICスコア 325点～399点を取得できる。		TOEICスコア 325点以上を満たすことができない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		TOEIC実戦形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、325点～400点のTOEICスコアを達成する。					
Style		ダイアログ式の単語・熟語集を用いて、単語や熟語を記憶し、適切に運用する能力を習得する。					
Notice		1. 必ず予習をして授業に臨むこと。授業には辞書を持参すること。 2. 英単語・ダイアログ1200の小テストを適宜行うので日頃から計画的に取り組んでおくこと。 3. 【重要】後学期中にTOEIC IPテストを必ず受験すること。（325点未満は評価割合の「態度」の得点が与えられない。）					
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Unit1～Unit7		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集のレストラン、ホテル、ショッピング、金融、病院、空港、道路、交通で用いられる語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		
		2nd	Unit1～Unit7		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集のレストラン、ホテル、ショッピング、金融、病院、空港、道路、交通で用いられる語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		
		3rd	Unit1～Unit7		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集のレストラン、ホテル、ショッピング、金融、病院、空港、道路、交通で用いられる語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		
		4th	Unit1～Unit7		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集のレストラン、ホテル、ショッピング、金融、病院、空港、道路、交通で用いられる語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		
		5th	Unit1～Unit7		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集のレストラン、ホテル、ショッピング、金融、病院、空港、道路、交通で用いられる語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		
		6th	Unit1～Unit7		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集のレストラン、ホテル、ショッピング、金融、病院、空港、道路、交通で用いられる語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		
		7th	Unit1～Unit7		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集のレストラン、ホテル、ショッピング、金融、病院、空港、道路、交通で用いられる語彙・構文、決まり文句の60％以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		

		8th	中間テスト	
	4th Quarter	9th	Unit8～Unit14	引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集の観光、日常業務、職場、スポーツ、コンピュータ、人事、雇用、研修で用いられる語彙・構文、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。
		10th	Unit8～Unit14	引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集の観光、日常業務、職場、スポーツ、コンピュータ、人事、雇用、研修で用いられる語彙・構文、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。
		11th	Unit8～Unit14	引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集の観光、日常業務、職場、スポーツ、コンピュータ、人事、雇用、研修で用いられる語彙・構文、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。
		12th	Unit8～Unit14	引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集の観光、日常業務、職場、スポーツ、コンピュータ、人事、雇用、研修で用いられる語彙・構文、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。
		13th	Unit8～Unit14	引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集の観光、日常業務、職場、スポーツ、コンピュータ、人事、雇用、研修で用いられる語彙・構文、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。
		14th	Unit8～Unit14	引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集の観光、日常業務、職場、スポーツ、コンピュータ、人事、雇用、研修で用いられる語彙・構文、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。
		15th	Unit8～Unit14	引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 教科書や語彙集の観光、日常業務、職場、スポーツ、コンピュータ、人事、雇用、研修で用いられる語彙・構文、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	15	0	25	100
Basic Proficiency	60	0	0	15	0	25	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	体育	
Course Information							
Course Code		0040		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		5th	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials							
Instructor		Arai Osamu					
Course Objectives							
1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。 2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。 3.運動・活動中は安全に留意して行動できる。							
Rubric							
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1		自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。		自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。		自己の取るべき行動が判断できない。または他人と協力する姿勢が見られず、活動に参加できない。	
Achievement 2		自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。		教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。		教員の指示に従わず、運動の技能や体力を身につけることができない。	
Achievement 3		活動中、自己のみならず仲間も安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。		活動中、自分の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。		活動中、安全に留意して活動できない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。					
Style							
Notice		普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動してください。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 前期の体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。					
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	種目選択と実践		(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2nd	種目選択と実践		(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3rd	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	2nd Quarter	9th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		11th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		12th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		13th	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		14th	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		15th	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	0	0	0	0	0	100	100
Basic Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2012		Course Title	英語総合 2	
Course Information							
Course Code		0041		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		Academic Credit: 2	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		5th	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		World in Focus(CENGAGE Learning)/					
Instructor		Katsufuji Kazuko					
Course Objectives							
1.教材(DVD及び英文エッセイ)で用いられている、英語表現を理解するために必要な語彙・語法を習得する。 2.英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解できる。 3.英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解できる。							
Rubric							
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1		教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解し、自ら運用できる。		教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解できる。		教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解できない。	
Achievement 2		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解することができる。		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解することができない。	
Achievement 3		400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解することができる。		400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解することができない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		科学・芸術・社会問題など様々な題材を取り上げた英語DVDを視聴し、特有の語彙・語法・表現に慣れるとともにその概要を理解する。さらに、その分野に関連する400語程度の英文を読んで、特有の語彙・語法・表現に慣れるとともに、その概要を理解する。					
Style							
Notice		1.授業には必ず辞書を持参すること。 2.単語テストを実施します。 3.【重要】自学自習用にノートを一冊用意すること。ルーズリーフ及びリングノートは認めません。					
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション		シラバスの内容を理解する。		
		2nd	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(1)英語DVDの視聴を通して、概要を把握する。		
		3rd	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(2)英文エッセイを読んで、概要を把握する。		
		4th	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		5th	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		6th	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		7th	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		8th	前期中間テスト				
	2nd Quarter	9th	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(1)英語DVDの視聴を通して、概要を把握する。		
		10th	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(2)英文エッセイを読んで、概要を把握する。		
		11th	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		12th	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		13th	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		14th	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		15th	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	70	0	0	0	15	15	100
Basic Proficiency	70	0	0	0	15	15	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	日本語の表現	
Course Information							
Course Code	0042			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	5th		
Term	First Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	高専日本語アビリティⅠ・Ⅱ 山田出版						
Instructor	Nishikori Hirofumi						
Course Objectives							
1.敬語、表現ルールの基本を用い、ビジネス文書等を作成できる。 2.社会マナー・ルールの基本を用いた行動ができる。 3.表現法の基本を活用し、社会的なテーマについて情報収集・分類を行い、表現できる。 4.ファシリテーション、聞く技術について説明し、実践できる。							
Rubric							
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	敬語、表現ルールの基本を適切に用い、効果的なビジネス文書等を作成できる。			敬語、表現ルールの基本を用い、ビジネス文書等を作成できる。		敬語、表現ルールに欠ける。	
Achievement 2	社会マナー・ルールの基本を適切に用いた効果的な行動ができる。			社会マナー・ルールの基本を用いた行動ができる。		社会マナー・ルールの基本に欠ける。	
Achievement 3	実践的かつ即応的コミュニケーションの基本を適切に用い、意見を口頭により効果的に表出できる。			実践的かつ即応的コミュニケーションの基本を適切に用い、意見を口頭により表出できる。		実践的かつ即応的コミュニケーションの基本、意見の口頭表出に欠ける。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	社会で必要な口頭、文書表現能力の基礎を理解し、適切に使用して表現できる。						
Style							
Notice							
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	敬語		敬語の基本を説明し、運用できる。		
		2nd	電話		電話対応の基本形を説明し、運用できる。		
		3rd	記録		記録・報告の基本形について説明し、作成できる。		
		4th	通信文		通信文の基本形について説明し、作成できる。		
		5th	通信文		通信文の基本形について説明し、作成できる。		
		6th	短歌・俳句		短歌・俳句の基本を説明し、作成できる。		
		7th	短歌・俳句		短歌・俳句の基本を説明し、作成できる。		
		8th	社会へのエントリー		社会的視点・ルールに則った言動について説明し、実践できる。		
	2nd Quarter	9th	社会へのエントリー		社会的視点・ルールに則った言動について説明し、実践できる。		
		10th	社会へのエントリー		社会的視点・ルールに則った言動について説明し、実践できる。		
		11th	ファシリテーション		合意形成のためのファシリテーションについて説明し、実践できる。		
		12th	ファシリテーション		合意形成のためのファシリテーションについて説明し、実践できる。		
		13th	ファシリテーション		合意形成のためのファシリテーションについて説明し、実践できる。		
		14th	聴く技術		聴く技術について説明し、実践できる。		
		15th	学年末試験				
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	20	0	0	20	0	100
Basic Proficiency	40	10	0	0	10	0	60
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	20	10	0	0	10	0	40

Anan College		Year	2012		Course Title	英語の語彙・文法（3）	
Course Information							
Course Code		0043		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		5th	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		LEVEL・UP TRAINER FOR THE TOEIC TEST(センゲージラーニング) 英単語・熟語ダイアログ1200（三省堂）/TOEICテスト新公式問題集 vol.1～5					
Instructor		Taninaka Toshihiro					
Course Objectives							
1.教科書・語彙集などの教材で学習した語彙を理解し、運用できるようにする。 2.教科書で取り上げた文法事項や構文を理解し、運用できるようにする。 3.TOEICスコア425点以上に相当する読解力・聴解力を身に付ける。							
Rubric							
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で理解できる。		左記のレベルに達しない。	
Achievement 2		教科書で取り上げた文法事項や構文を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を適切な文脈の中で理解できる。。		左記のレベルに達しない。	
Achievement 3		授業で扱ったものと同程度の英文の読解・聴解において十分理解し、TOEICで425点以上取得できる。		授業で扱った英文の読解・聴解において十分理解し、TOEICで375点以上取得できる。		左記のレベルに達しない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		TOEICスコア425点以上の取得を目指し、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解欲の総合的向上を図る。					
Style							
Notice		1.授業には辞書（電子辞書可）を持参すること 2.オリエンテーションで説明するやり方で十分予習・復習を行うこと。 3.【重要】TOEICスコアを成績に含めるので前期に実施されるTOEICを必ず受験すること。（獲得スコアが350点未満の場合、総合評価の「その他」の10点分が与えられない。）					
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション		シラバスの確認、学習方法の解説		
		2nd	Unit 1～6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードを見に付ける。TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜くことができるようになる。正解の言い換えパターンを知り、解答に役立てることができる。		
		3rd	Unit 1～6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードを見に付ける。TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜くことができるようになる。正解の言い換えパターンを知り、解答に役立てることができる。		
		4th	Unit 1～6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードを見に付ける。TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜くことができるようになる。正解の言い換えパターンを知り、解答に役立てることができる。		
		5th	Unit 1～6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードを見に付ける。TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜くことができるようになる。正解の言い換えパターンを知り、解答に役立てることができる。		
		6th	Unit 1～6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードを見に付ける。TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜くことができるようになる。正解の言い換えパターンを知り、解答に役立てることができる。		
		7th	Unit 1～6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードを見に付ける。TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜くことができるようになる。正解の言い換えパターンを知り、解答に役立てることができる。		
		8th	前期中間試験 答案返却				
	2nd Quarter	9th	Unit 7～12		TOEICテストで扱われる英文に頻出する機能疑問文、動詞の自制、接続詞、前置詞、接続副詞、について理解し、解答に役立てることができる。また、これらの語彙項目・文法項目を適切な文脈において運用できるようになる。		

		10th	Unit 7~12	TOEICテストで扱われる英文に頻出する機能疑問文、動詞の自制、接続詞、前置詞、接続副詞、について理解し、解答に役立てることができる。また、これらの語彙項目・文法項目を適切な文脈において運用できるようになる。
		11th	Unit 7~12	TOEICテストで扱われる英文に頻出する機能疑問文、動詞の自制、接続詞、前置詞、接続副詞、について理解し、解答に役立てることができる。また、これらの語彙項目・文法項目を適切な文脈において運用できるようになる。
		12th	Unit 7~12	TOEICテストで扱われる英文に頻出する機能疑問文、動詞の自制、接続詞、前置詞、接続副詞、について理解し、解答に役立てることができる。また、これらの語彙項目・文法項目を適切な文脈において運用できるようになる。
		13th	Unit 7~12	TOEICテストで扱われる英文に頻出する機能疑問文、動詞の自制、接続詞、前置詞、接続副詞、について理解し、解答に役立てることができる。また、これらの語彙項目・文法項目を適切な文脈において運用できるようになる。
		14th	Unit 7~12	TOEICテストで扱われる英文に頻出する機能疑問文、動詞の自制、接続詞、前置詞、接続副詞、について理解し、解答に役立てることができる。また、これらの語彙項目・文法項目を適切な文脈において運用できるようになる。
		15th	Unit 7~12	TOEICテストで扱われる英文に頻出する機能疑問文、動詞の自制、接続詞、前置詞、接続副詞、について理解し、解答に役立てることができる。また、これらの語彙項目・文法項目を適切な文脈において運用できるようになる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	0	20	20	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	20	20	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	英語の語彙・文法（４）	
Course Information							
Course Code	0044			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 1		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	5th		
Term	Second Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	FAST PASS FOR THE TOEIC TEST(CENGAGE Learning)/TOEIC テスト新公式集 vol.1~5(TOEIC運営委員会)						
Instructor	Fujii Hiromi						
Course Objectives							
1.教科書・語彙集などの教材で学習した語彙を理解し、運用できるようになる。 2.教科書で取り上げた文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。 3.TOEIC450点以上に相当する読解力や聴解力を身に付ける。							
Rubric							
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解し、自ら運用できる。			教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解できない。	
Achievement 2	教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解し、自ら運用できる。			教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解できない。	
Achievement 3	授業で扱った英文を読解及び聴解において十分に理解し、TOEICスコア450点以上を取得できる。			授業で扱った英文を読解及び聴解において十分に理解し、TOEICスコア400点相当を取得できる。		TOEICスコア400点相当を取得できない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	TOEICスコア450点以上の取得を目指し、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。						
Style							
Notice	1.授業には辞書（電子辞書可）を持参すること 2.授業には必ず予習をして臨むこと 3.【重要】後学期TOEIC IPテストを必ず受験すること（成績評価に反映させます） 4.単語テストを実施するので、英単語・熟語ダイアログ1200（旺文社）を準備すること						
Course Plan							
			Theme	Goals			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	オリエンテーション	シラバスの内容を理解する。			
		2nd	Unit 1 Travel ~ Unit 6 Housing & Accommodations	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		3rd	Unit 1 Travel ~ Unit 6 Housing & Accommodations	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		4th	Unit 1 Travel ~ Unit 6 Housing & Accommodations	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		5th	Unit 1 Travel ~ Unit 6 Housing & Accommodations	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		6th	Unit 1 Travel ~ Unit 6 Housing & Accommodations	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		7th	Unit 1 Travel ~ Unit 6 Housing & Accommodations	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		8th	総合中間テスト				
	4th Quarter	9th	Unit 7 Office Work(1) ~ Unit 12 Business Affairs(2)	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		10th	Unit 7 Office Work(1) ~ Unit 12 Business Affairs(2)	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		11th	Unit 7 Office Work(1) ~ Unit 12 Business Affairs(2)	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		12th	Unit 7 Office Work(1) ~ Unit 12 Business Affairs(2)	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		13th	Unit 7 Office Work(1) ~ Unit 12 Business Affairs(2)	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		14th	Unit 7 Office Work(1) ~ Unit 12 Business Affairs(2)	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		15th	Unit 7 Office Work(1) ~ Unit 12 Business Affairs(2)	■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。			
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	0	20	20	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	20	20	100

Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2012		Course Title	中国語	
Course Information							
Course Code	0045			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 1		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	5th		
Term	Second Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	中国語 初めの一步 白水社						
Instructor	Zheng Tao						
Course Objectives							
1.中国の文化と生活に関する基礎的な知識を理解する。 2.中国語の発音と基本な文法を理解し、基礎的な日常会話ができる。							
Rubric							
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	中国語の社会事情、文化、生活に関することについて興味を持ち、理解できる。			中国の社会事情、文化、生活に関することについてある程度理解できる。		中国の社会事情、文化、生活に関することについての理解に欠ける。	
Achievement 2	発音記号を見て、中国語を正しく発音できる。			発音記号を見て、中国語を発音できる。		発音記号による発音ができない。	
Achievement 3	簡単な日常会話が流暢にできる。			簡単な日常会話ができる。		簡単な日常会話ができない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	中国の社会事情、生活・文化に関する基礎的な知識を理解するとともに、中国語の発音と表現に関する基礎知識、及び基礎的な会話を学習する。						
Style	授業は会話に関する学習と練習を基本とする。						
Notice	外国語の勉強がしゃべることが大事なので、授業中、積極的な態度で声を出すこと。						
Course Plan							
2nd Semester	3rd Quarter		Theme	Goals			
		1st	ガイダンス	シラバスにより到達目標、評価割合、達成度基準などを理解する。			
		2nd	オリエンテーション	中国の社会事情、文化・生活、中国語の基本に関することを理解する。			
		3rd	中国語の基礎：発音	発音記号を使って、中国語の発音ができる。			
		4th	中国語の基礎：発音	発音記号を使って、中国語の発音ができる。			
		5th	中国語の会話入門	簡単な日常会話ができる。			
		6th	中国語の会話入門	簡単な日常会話ができる。			
		7th	会話の練習と小テスト	簡単な日常会話ができる。			
	8th	会話の練習と小テスト	簡単な日常会話ができる。				
	4th Quarter	9th	会話の練習と小テスト	簡単な日常会話ができる。			
		10th	会話の練習と小テスト	簡単な日常会話ができる。			
		11th	前期中間試験				
		12th	会話と小テスト	簡単な日常会話ができる。			
		13th	会話と小テスト	簡単な日常会話ができる。			
		14th	会話と小テスト	簡単な日常会話ができる。			
		15th	会話と小テスト	簡単な日常会話ができる。			
16th							
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	0	0	40	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	0	40	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0